鹿児島市立西伊敷小学校

西伊敷小学校では，環境委員会が中心となり，各学級・各委員会と連携し，家庭や地域の協力をいただきながら，全児童・全職員で学校版ＩＳＯに取り組んでいます。

本年度は，学校版環境ＩＳＯ認定校として１５年目。これまでの実践を生かしながら「地球規模で考え，足もとから行動する」を合言葉に日々活動しています。

１　主な環境教育活動について

西伊敷小学校では，年間を通して色々な環境教育活動に取り組んでいます。特に毎月第３週を「環境を考える週間」とし，環境チェックカードの記入等で取組の見直しを行っています。

１「朝のボランティア活動」

西伊敷小学校の校門前には長い坂があり，たくさんの木々に囲まれています。毎日葉が落ちるため，５・６年生を中心に清掃活動に取り組んでいます。友だちや先生と協力しながら，楽しく活動することができています。

２「プールの生き物調査」

プールの授業が終わり，１０か月たったプールにどんな生き物がいるのかについて調査しています。毎年記録をとり続けることで，生態系の変化や生物多様性についても考えることができました。

３「みどりの小道環境日記」

４・５・６年生の全員が，２か月間，環境に関する日記を書き続けます。最初は大変でしたが，日記を書いていく中で，環境のことについてくわしくなり，毎日の生活で環境によい行動をしようと考えるようになりました。

４「リサイクル活動」

アルミ缶・ペットボトルキャップ・テープの巻き芯・インクカートリッジなどを集めています。特に毎月第３週を「環境を考える週間」として，朝のあいさつ運動のときにリサイクルの呼びかけをしています。

５「環境未来館での発表」

環境未来館で毎年行われている環境子どもフォーラムに「西伊敷子どもエコクラブ」として参加しています。毎年環境問題に対するテーマを決めて，校内での呼びかけや壁新聞づくり・劇での発表などに取り組み自分たちで行動することができるように啓発しています。

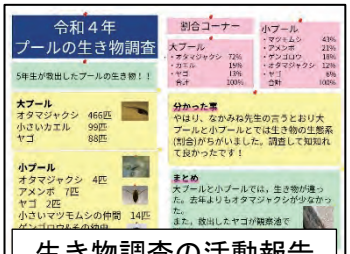
６「アフガニスタンにランドセルを送る活動」

６年間の思い出がつまったランドセルですが，小学校での役目を終え，海をわたってアフガニスタンの子どもたちのために送られます。毎年リサイクル活動で得たお金を，ランドセルを送るための送料に使っています。

２　啓発活動の様子

西伊敷小学校では，理科室前や踊り場のスペースを活用し環境学習の取組や壁新聞，ポスター等を掲示しています。また，放送での呼びかけや，節電・節水のポスターを掲示し，啓発活動に取り組んでいます。

リサイクルの呼びかけ



生き物調査の活動報告